

第六十四回帝國議會
衆議院

農業動産信用法案外一件委員會會議錄(速記)第一回

付託議案
農業動産信用法案(政府提出)
漁業法中改正法律案(政府提出)

委員會成立

本委員ハ昭和八年三月十四日(火曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

庄 晋太郎君 鈴木 英雄君
竹澤 太一君 佐藤庄太郎君
林 儀作君 青山 憲三君
平井信四郎君 木本主一郎君
砂田 重政君 中村 嘉壽君
渡邊 與七君 土倉 宗明君
村上紋四郎君 谷原 公君
中井川 浩君 中山 福藏君
高田 耘平君 小池 仁郎君
同月十五日(水曜日)午前十時三十分委員長理事互選ノ爲委員參集ス
其ノ氏名左ノ如シ

庄 晋太郎君 鈴木 英雄君
竹澤 太一君 佐藤庄太郎君
青山 憲三君 木本主一郎君
中村 嘉壽君 渡邊 與七君
村上紋四郎君 谷原 公君
中井川 浩君 高田 耘平君
小池 仁郎君
〔年長者村上紋四郎君投票管理者ト爲

ル)

○村上投票管理者 ソレデハ先例ニ依リマシテ、私ガ年長ノ故ヲ以テ投票管理者トナリ、是ヨリ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒマス

○青山委員 私ハ諸君ノ御賛成ヲ得テ、庄晋太郎君ヲ委員長ニ推薦致シマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○村上投票管理者 別ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○村上投票管理者 ソレデハ青山君ノ動議ノ如ク決定致シマス、青山君ノ御意見ニ御異議ナシト認メマシテ、庄晋太郎君ガ委員長ニ御當選ニナリマシタ

〔庄晋太郎君委員長席ニ著ク〕

○庄委員長 不肖僭越デアリマスガ、只今御指名ニ依リマシテ決定致シマシタ委員長ノ席ヲ汚スコトニ致シマス、ドウカ宜シク御指導御鞭撻ヲ御願致シマス、是ヨリ理事ノ選舉ヲ致スコトニ致シマス

○青山委員 理事ハ其數ヲ四名ト致シマシテ、委員長カラ御指名ヲ願ヒマス

○庄委員長 青山君ノ御發議ニ御異議アリ

マセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○庄委員長 御異議ナシト認メマシテ、私カラ指名致スコトニ致シマス

竹澤 太一君 平井信四郎君
中井川 浩君 中山 福藏君
ノ四名ヲ指名致シマス、是デ委員長理事ノ選舉ヲ終リマシタ

會議

昭和八年三月十五日(水曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 庄 晋太郎君

理事竹澤 太一君 理事中井川 浩君

鈴木 英雄君 佐藤庄太郎君

青山 憲三君 木本主一郎君

中村 嘉壽君 渡邊 與七君

村上紋四郎君 谷原 公君

高田 耘平君 小池 仁郎君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君
出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 松村 謙三君

農林省水產局長 戸田 保忠君

農林省經濟更生部長 小平 權一君

農林書記官 井野 碩哉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農業動産信用法案(政府提出)

漁業法中改正法律案(政府提出)

○庄委員長 引續キ會議ヲ繼續シタイト考ヘテ居リマスガ如何デスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○庄委員長 然ラバ只今カラ議事ヲ繼續スルコトニ致シマス、農業動産信用法案及漁業法中改正法律案ノ兩案ヲ一括議題ニ供シマス、政府委員ノ御方カラ兩案提出ノ理由ヲ御説明願ヒマス

○松村政府委員 私カラ兩案提出ノ理由ヲ説明申上ゲタイト存ジマス、先ヅ漁業法中ノ改正法律案ニ付キマシテ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、漁業法ニ於テ認メテ居リマスル漁業組合ハ、漁村ニ於ケル漁業者ノ組織スル重要ナル團體デアリマス、然ルニ現行法規ノ下ニ於キマシテハ、隣保共助ノ精神ニ基ク漁村ニ於ケル經濟機關トシテノ機能ヲ

十分發揮スル上ニ、尙ホ遺憾トスル所ガ尠クナイノデアリマス、故ニ之ヲ改正致シマシテ、眞ニ漁村ノ中樞機關トシテ活動スルニ便宜ナラシムルコトハ、漁村ノ現狀ニ鑑ミマシテ甚ダ必要デアリマスノミナラズ、漁村ノ經濟更生ノ方策ト致シマシテモ洵ニ緊要缺クベカラザルコトデアアルノデアリマス、仍テ之ニ關スル規定ノ改正ヲ致シ

ハ、無限責任及保證責任ノ二通りト致シタノデアリマス

定ニ依ルコトヲ得ルコト、致シタノデアリマス、前記ノ期間内ニ本改正法律ニ依ル聯合會トナサザルモノハ、其期間満了ノ日ニ於テ解散ヲ致スモノト致シタノデアリマス

次ニ農業動產信用法案提出ノ理由ヲ説明申上ゲマス

第三ニハ漁村ノ事情ニ依リマシテ、漁業從業者其他漁業者ニ非ザル者ヲ漁業協同組合ニ加入セシムルコトヲ適當ト致ス場合モアリマスノデ、漁業協同組合ハ組合規約ノ定ムル所ニ依リマシテ、漁業者ニ非ザル者ヲ組合員ト爲スコトヲ得ルコト、致シタノデアリマス、又漁業ノ種類漁村ノ狀況ニ依リマシテ漁業協同組合自ラ漁業ヲ營ムコトヲ適當トスル場合モアリマスノデ、命令ノ定ムル範圍内ニ於テ、行政官廳ノ許可ヲ得マシテ自ラ漁業ヲ營ムコトガ出來ルコトニ致シタノデアリマス

第四ニ漁業組合聯合會ハ所屬ノ漁業組合、及漁業組合聯合會ノ共同ノ目的ヲ達スル爲メ設立ヲ致シ得ルコトニ致シマシテ、其組織ハ無限責任及保證責任ノ二通りト致シタノデアリマス

第六ニ漁業權又ハ入漁權ノ各共有者ガ其持分ヲ處分致ス爲ニハ、他ノ共有者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ足ルコト、致シタノデアリマス、又共有ニ屬スル漁業權又ハ入漁權ヲ變更セントスル場合ニ於キマシテハ、他ノ共有者ノ所在ガ分リマセヌデ、其同意ヲ得ルコトガ出來マセヌ時、及漁業權ノ分割其他ノ變更ヲ爲サントスル場合ニ於キマシテ、登錄シタル入漁權者ノ所在ガ分リマセヌ爲ニ、其同意ヲ得ルコトガ出來マセヌ時ハ裁判所ノ許可ヲ以テ其同意ニ代フルコトガ出來ルコトニ致シタノデアリマス

此法案ノ要旨ヲ申上ゲマス、第一ニ農業用動產、若クハ農業生産物ノ保存、農業用動產ノ購入、種苗、肥料、蠶種、若クハ桑葉ノ購入、薪炭原本ノ購入、又ハ一定ノ水產養殖用種苗、若クハ餌料ノ購入ヲ爲スニ必要ナル資金ノ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テ、特定動產ノ上ニ先取特權ヲ認ムルコト、致シマシタ

第二ニ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、組合員カラ出資ヲ爲サシムルコトヲ得ルモノト致シマシテ、之ヲ漁業協同組合トシテ、其組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種ト致シタノデアリマス、又出資ノ制度ヲ採リマセヌデ、漁業協同組合ト同種ノ事業ヲ行ヒマスル漁業組合ノ組織

第五ニ本改正法律施行前カラ引續キマシテ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、改正法律施行法五年ヲ限リマシテ、前ニ申上ゲマシタ責任組織ノ組合ト爲サザルコトヲ得ルコト、致シマシタ、又本改正法律施行前ニ設立致シマシタ漁業組合聯合會ハ、改正法律施行後五年ヲ限リマシテ尙ホ從前ノ規

第七ニ農林大臣又ハ地方長官ガ水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲メ命令ヲ以テ規定シ得ル事項中ニ、水產動植物ニ有害ナルモノ、漏泄竝ニ水產動植物ノ移植ニ關スル制限又ハ禁止ノ事項ヲ加ヘ、尙ホ母船式漁業、又ハ機船底曳網漁業ヲ營マントスルモノハ主務大臣ノ許可ヲ要スル旨ヲ漁業法中ニ規定スルコト、致シマシタ、以上ガ今回改正ノ要旨デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御可決アラシコトヲ望ミマス

第三ニハ以上ノ先取特權、又ハ農業用動產抵當權ヲ取得シ得ル者ハ信用組合其他特定ノ法人ト致シマシタコト等デアリマス、

今回ノ改正事項中其主ナル點ヲ申述ベマスルナラバ、第一ニ漁業組合ハ從來漁業權又ハ入漁權ノ主體トナリ、又組合員ノ漁業ニ關スル各種ノ共同施設ヲ爲スコトヲ目的トシテ居ッタノデアリマスガ、新ニ其目的トシテ組合員ノ經濟ノ發達ニ必要ナル共同ノ施設ヲ爲スコトヲ加ヘタノデアリマス

第四ニ漁業組合聯合會ハ所屬ノ漁業組合、及漁業組合聯合會ノ共同ノ目的ヲ達スル爲メ設立ヲ致シ得ルコトニ致シマシテ、其組織ハ無限責任及保證責任ノ二通りト致シタノデアリマス

第七ニ農林大臣又ハ地方長官ガ水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲メ命令ヲ以テ規定シ得ル事項中ニ、水產動植物ニ有害ナルモノ、漏泄竝ニ水產動植物ノ移植ニ關スル制限又ハ禁止ノ事項ヲ加ヘ、尙ホ母船式漁業、又ハ機船底曳網漁業ヲ營マントスルモノハ主務大臣ノ許可ヲ要スル旨ヲ漁業法中ニ規定スルコト、致シマシタ、以上ガ今回改正ノ要旨デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御可決アラシコトヲ望ミマス

第三ニハ以上ノ先取特權、又ハ農業用動產抵當權ヲ取得シ得ル者ハ信用組合其他特定ノ法人ト致シマシタコト等デアリマス、

第二ニ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、組合員カラ出資ヲ爲サシムルコトヲ得ルモノト致シマシテ、之ヲ漁業協同組合トシテ、其組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種ト致シタノデアリマス、又出資ノ制度ヲ採リマセヌデ、漁業協同組合ト同種ノ事業ヲ行ヒマスル漁業組合ノ組織

第五ニ本改正法律施行前カラ引續キマシテ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、改正法律施行法五年ヲ限リマシテ、前ニ申上ゲマシタ責任組織ノ組合ト爲サザルコトヲ得ルコト、致シマシタ、又本改正法律施行前ニ設立致シマシタ漁業組合聯合會ハ、改正法律施行後五年ヲ限リマシテ尙ホ從前ノ規

第七ニ農林大臣又ハ地方長官ガ水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲メ命令ヲ以テ規定シ得ル事項中ニ、水產動植物ニ有害ナルモノ、漏泄竝ニ水產動植物ノ移植ニ關スル制限又ハ禁止ノ事項ヲ加ヘ、尙ホ母船式漁業、又ハ機船底曳網漁業ヲ營マントスルモノハ主務大臣ノ許可ヲ要スル旨ヲ漁業法中ニ規定スルコト、致シマシタ、以上ガ今回改正ノ要旨デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御可決アラシコトヲ望ミマス

第三ニハ以上ノ先取特權、又ハ農業用動產抵當權ヲ取得シ得ル者ハ信用組合其他特定ノ法人ト致シマシタコト等デアリマス、

第二ニ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、組合員カラ出資ヲ爲サシムルコトヲ得ルモノト致シマシテ、之ヲ漁業協同組合トシテ、其組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種ト致シタノデアリマス、又出資ノ制度ヲ採リマセヌデ、漁業協同組合ト同種ノ事業ヲ行ヒマスル漁業組合ノ組織

第五ニ本改正法律施行前カラ引續キマシテ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、改正法律施行法五年ヲ限リマシテ、前ニ申上ゲマシタ責任組織ノ組合ト爲サザルコトヲ得ルコト、致シマシタ、又本改正法律施行前ニ設立致シマシタ漁業組合聯合會ハ、改正法律施行後五年ヲ限リマシテ尙ホ從前ノ規

第七ニ農林大臣又ハ地方長官ガ水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲メ命令ヲ以テ規定シ得ル事項中ニ、水產動植物ニ有害ナルモノ、漏泄竝ニ水產動植物ノ移植ニ關スル制限又ハ禁止ノ事項ヲ加ヘ、尙ホ母船式漁業、又ハ機船底曳網漁業ヲ營マントスルモノハ主務大臣ノ許可ヲ要スル旨ヲ漁業法中ニ規定スルコト、致シマシタ、以上ガ今回改正ノ要旨デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御可決アラシコトヲ望ミマス

第三ニハ以上ノ先取特權、又ハ農業用動產抵當權ヲ取得シ得ル者ハ信用組合其他特定ノ法人ト致シマシタコト等デアリマス、

第二ニ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、組合員カラ出資ヲ爲サシムルコトヲ得ルモノト致シマシテ、之ヲ漁業協同組合トシテ、其組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種ト致シタノデアリマス、又出資ノ制度ヲ採リマセヌデ、漁業協同組合ト同種ノ事業ヲ行ヒマスル漁業組合ノ組織

第五ニ本改正法律施行前カラ引續キマシテ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、改正法律施行法五年ヲ限リマシテ、前ニ申上ゲマシタ責任組織ノ組合ト爲サザルコトヲ得ルコト、致シマシタ、又本改正法律施行前ニ設立致シマシタ漁業組合聯合會ハ、改正法律施行後五年ヲ限リマシテ尙ホ從前ノ規

第七ニ農林大臣又ハ地方長官ガ水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲メ命令ヲ以テ規定シ得ル事項中ニ、水產動植物ニ有害ナルモノ、漏泄竝ニ水產動植物ノ移植ニ關スル制限又ハ禁止ノ事項ヲ加ヘ、尙ホ母船式漁業、又ハ機船底曳網漁業ヲ營マントスルモノハ主務大臣ノ許可ヲ要スル旨ヲ漁業法中ニ規定スルコト、致シマシタ、以上ガ今回改正ノ要旨デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御可決アラシコトヲ望ミマス

第三ニハ以上ノ先取特權、又ハ農業用動產抵當權ヲ取得シ得ル者ハ信用組合其他特定ノ法人ト致シマシタコト等デアリマス、

第二ニ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、組合員カラ出資ヲ爲サシムルコトヲ得ルモノト致シマシテ、之ヲ漁業協同組合トシテ、其組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種ト致シタノデアリマス、又出資ノ制度ヲ採リマセヌデ、漁業協同組合ト同種ノ事業ヲ行ヒマスル漁業組合ノ組織

第五ニ本改正法律施行前カラ引續キマシテ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、改正法律施行法五年ヲ限リマシテ、前ニ申上ゲマシタ責任組織ノ組合ト爲サザルコトヲ得ルコト、致シマシタ、又本改正法律施行前ニ設立致シマシタ漁業組合聯合會ハ、改正法律施行後五年ヲ限リマシテ尙ホ從前ノ規

第七ニ農林大臣又ハ地方長官ガ水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲メ命令ヲ以テ規定シ得ル事項中ニ、水產動植物ニ有害ナルモノ、漏泄竝ニ水產動植物ノ移植ニ關スル制限又ハ禁止ノ事項ヲ加ヘ、尙ホ母船式漁業、又ハ機船底曳網漁業ヲ營マントスルモノハ主務大臣ノ許可ヲ要スル旨ヲ漁業法中ニ規定スルコト、致シマシタ、以上ガ今回改正ノ要旨デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御可決アラシコトヲ望ミマス

第三ニハ以上ノ先取特權、又ハ農業用動產抵當權ヲ取得シ得ル者ハ信用組合其他特定ノ法人ト致シマシタコト等デアリマス、

第二ニ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、組合員カラ出資ヲ爲サシムルコトヲ得ルモノト致シマシテ、之ヲ漁業協同組合トシテ、其組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種ト致シタノデアリマス、又出資ノ制度ヲ採リマセヌデ、漁業協同組合ト同種ノ事業ヲ行ヒマスル漁業組合ノ組織

第五ニ本改正法律施行前カラ引續キマシテ特定ノ經濟行爲ヲ行フ漁業組合ハ、改正法律施行法五年ヲ限リマシテ、前ニ申上ゲマシタ責任組織ノ組合ト爲サザルコトヲ得ルコト、致シマシタ、又本改正法律施行前ニ設立致シマシタ漁業組合聯合會ハ、改正法律施行後五年ヲ限リマシテ尙ホ從前ノ規

第七ニ農林大臣又ハ地方長官ガ水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲メ命令ヲ以テ規定シ得ル事項中ニ、水產動植物ニ有害ナルモノ、漏泄竝ニ水產動植物ノ移植ニ關スル制限又ハ禁止ノ事項ヲ加ヘ、尙ホ母船式漁業、又ハ機船底曳網漁業ヲ營マントスルモノハ主務大臣ノ許可ヲ要スル旨ヲ漁業法中ニ規定スルコト、致シマシタ、以上ガ今回改正ノ要旨デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御可決アラシコトヲ望ミマス

第三ニハ以上ノ先取特權、又ハ農業用動產抵當權ヲ取得シ得ル者ハ信用組合其他特定ノ法人ト致シマシタコト等デアリマス、

何卒御審議ノ上御協賛アラシコトヲ希望致シマス

○竹澤委員 提案セラレマシタ兩案ノ中、漁業法中改正法律案ノ方ヲ第一ニ審議シテ戴キタイト云フ勸議ヲ提出致シマス

○庄委員長 竹澤サンノ御發議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○庄委員長 御異議ナシト認メマシテ、此兩案ノ中漁業法中改正法律案ノ審議カラ始メルコトニ致シマス、只今政府委員カラ御通知ガアリマシテ、午前中ハ農林大臣ガ貴族院ノ方ニ御出席ニナツテ、此方ニ出ラレヌサウデアリマス、午後ハ繰合セガ付クト云フコトデアリマスガ、速記ノ都合ガ午前中ダケシカ用意ガナイヤウナ模様デアリマス、只今政府委員ノ方ニ事務的ノ御質問ガアレバ御答ガ出來ルト云フコトデアリマスカラ、通告順ニ依テ質問ヲ始メルコトニ致シマス、村上君

○村上委員 私ハ漁業法ノ全般ニ對シマシテ、質問ヲシタイト思ヒマス、ソレデ大臣ノ出席マデ私ノ質問ハ留保シテ置キマス

○庄委員長 然ラバ中村君

○中村委員 私ノ質問ハ、是モ亦大臣ノ御出デニナルマデ留保スルコトニ致シマス、

私共ハ之ヲ多年主張シテ居リマシタノデ、今日斯様ナ法案ノ出タコトヲ、既ニ遲シトスルノデアリマスカラ、成ベク早く通過サレ、實施サレンコトヲ希望シテ居ルヤウナ次第デアリマス、私ノ質問ハ後ニ讓ルコトト致シマス

○小池委員 大臣ニ御聽スルノガ宜イカモ知レマセヌガ、私共ハ漁業法ノ改正ヲ長イ間希望シテ居リマスコトハ、水產當局デモ御承知ノコトダト思ヒマス、會期切迫ノ場合デアリマスカラ、一日モ早く本案ガ通過スルコトヲ望ミマス、尙ホ私ハ政府委員ニ御尋申上ゲ、御説明ヲ願ツテ、足りナイ、満足ノ行カナイ點ガアレバ大臣ヲ煩ハスコトニナリマセウ、又一應申上ゲテ置ケバ、大臣ガ御答下サルニモ都合ガ好イダラウト斯様ニ考ヘルカラ、私ハ先ヅ事務當局者ニ就テ御意見ヲ伺ツテ置キタイトデアリマス、ソレハ漁業權ノ存續問題デアリマス、是モ長イ間ノ問題デ、漁業權ヲ物權的ニ確定ヲ見タイト云フ、所謂土地ニ準ズル所ノ制度ニスル、又漁業權ノ存續期間モ二十箇年トアルノハ極メテ短期ニ過ギルシ、更新ト云フコトモ繼續ト云フ意味デナクテ、新規處分ニナルト云フヤウナ疑モ持ツテ居ル、斯ウ云フコトデ、漁業者ヲ保護スル上カラ改正ヲ

望ンデ居ツタコトハ久シイデアリマス、同時ニ此物權ニ對スル漁業者ノ權利ヲ確保スル意味カラ行クト、或ハ無期限ニスル、若クハ無期限ニセヌシテモ、現在ノモノヲ倍以上ノ期間ヲ持タセル位ノ希望ヲ實ハ多年懷イテ居ツタ者デアリマス、此度ノ漁業法ノ改正ニ於テハ、其事ノ改正ヲ見ルコトガ出來ナカッタ、又行政上ノ處分ニ於テ、公益上ノ關係カラ漁業權ノ取消トカ、或ハ移轉トカ、色々變化ヲ生ズル場合ガアル、其爲ニ漁業者ノ蒙ル不利益モ、何等カノ方法ヲ以テ補償シテ貰ハナケレバナラス、斯様ナル考ヲ持ツテ居ツタノデアリマシタ、今回ハサウ云フ方面ニ一切手ヲ觸レラナイノハドウ云フ譯デアッタカ、又重ネテ近キ將來ニ於テサウ云フ改正ノ御意思ガアルカドウカ、其點ニ付テ從來問題ヲ御取扱ニナラレタ水產當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイトデアリマス

○戸田政府委員 第一ノ御尋ノ漁業權ノ問題デゴザイマスガ、是ハ色々考ヘ方ガゴザイマシテ、漁業權ハ無期限ニスベシト云フ論モゴザイマス、或ハ期間ヲ延長スベシト云フ論モアリ、或ハ只今二十年以内ヲ期間トシテ更新スルト云フコトニナツテ居リマスガ、更新ノ觀念ヲ延長ト云フ風ニ改メ

ルガ宜イト云フ考ヘ方モゴザイマス、根本ノ問題ト致シマシテ、相當慎重ニ考慮ヲ要スル問題デアリマスノデ、此度ノ改正ハ其他ノ點モゴザイマスガ、主トシテ漁業組合ノ機能充實ト云フ點ニ重點ヲ置キマシテ、漁村ノ經濟更生ニ資スルト云フコトヲ重要ナル點ト致シテ改正ヲ試ミタノデゴザイマス、漁業權存續ノ根本問題ニ付キマシテハ、慎重ニ考究スル必要モアルコトデアリ、相當ナル問題デゴザイマスノデ、此度ノ一部改正ニ於テハ其點ニ觸レナカッタノデアリマス、又漁業權ノ補償ノ問題デゴザイマスガ、是ハ財政等ノ關係モゴザイマシテ、此度ノ改正案ニハ入ッテ居リマセヌノデ、是ハ現在ニ於キマシテモ、ソレノ法律ノ中ニ、一般ニ論ゼラレテ居ルガ如ク、漁業權全般ニ關スル、全般的ノ補償ノ規定デハゴザイマセヌガ、或種ノ法律ニハ、其事項ニ關シテハ特ニ漁業權ノ補償ヲ規定シテ居ル法律モアルノデゴザイマス、是モ相當他ノ一般ノ例トモナリマシテ、關係スル所ガ大キイノデアリマシテ、先程申上ゲタヤウナ意味合カラ、此度ノ改正ニ於キマシテハ之ニ觸レテ居リマセヌ、近キ將來ニ更ニ改正スル意思アリヤ否ヤト云フ御尋デゴザイマスガ、兩方トモ相當研究ヲ要シ、又關係

スル所モ廣イノデアリマスカラ、只今直チニハツキリ將來ノ意思ヲ申上ゲル域ニハ未ダ至リ兼テ居リマス

○小池委員 幸ヒ大臣ノ御出席ガアリマシ

タノデ、此度ハ時局救済ノ爲ニ漁村更生ヲ圖ル意味合カラ、漁業法ノ一部改正ヲ御提案ニナリマシタコトハ、極メテ機宜ニ適セラル御處置ト私ハ信ジテ居リマス、併シ漁業法ノ改正ハ獨リ漁業組合ノ活動ヲ促シテ、漁村更生ヲ圖ルト云フコトガ、之ニ依テノミ圖ラレルモノデハナクシテ、他ノ、只今申上ゲマシタ漁業權存續期間ノ問題ノ如キ、補償制度ノ如キ事柄ハ、確ニ漁村ノ根本問題デアアル、此根本問題ヲ解決スルト云フコトハ、同時ニ實ハシテ戴キタカッタ、ケレドモソレハ財政上ノ關係ヤ其他ノ問題デ、其運ビニナラナカッタト云フ政府委員ノ御説明ヲ得タノデアリマス、是ハ漁村ノ基礎ヲ確立スル點カラ見マシテ、私ガ縷説スル迄モナク重要ナ關係モアリマスカラ、當局ニ於テモソレハ既ニ或ル程度迄ハ御認メニナツテ居ルト私共ハ信ジテ居ル、隨テ近キ將來ニ、漁業組合ノ活動ヲ促スト同時ニサウシタ基礎ヲ鞏固ニスルト云フコトハ當然ノ歸結ナリト考ヘルノデアリマス、隨テ大臣ハ左様ナ問題ノ解決モ、一日モ早く、

近キ將來ニ於テサウ云フ希望ヲ御持チニナツテ居リマスカ、此際大臣ノ御決意ノ程ヲ伺ツテ置キタイ

○後藤國務大臣 漁業權ノ問題ハ色々考究

致シテ居リマスガ、是ハ可ナリ大キナ問題デアルト思ヒマス、一面ニハ漁業者ノ爲ニ權利ヲ確保スルコト、一面ニハ漁業ノ振興發達ヲ促進スルコト、云フヤウナ、色々ナ見地カラ考ヘナケレバナラス問題デアリマシテ、今後モ鋭意考究ヲシテ適當ナ改良ヲ加ヘテ行キタイト云フ考デ居リマス、ソレカラ色々ナ國家的公ノ施設等ノ爲ニ漁業權ガ消滅シタリ、又非常ニ毀損セラレタリシタ場合ニ於ケル補償ノ問題ハ、今回ノ提案ニ際シテモ出來ルナラバ入レテ見タイ考デ參ッタノデアリマスガ、先程水產局長ガ御答致シタヤウナ事情、其他多少考究ヲ致ス事情ガアリマスノデ今回ノ改正ニハ入レナカッタト云フ譯デアリマス、此點モ能ク考究シテ實際ニ適應スルヤウニ致シマセスト云フト、規則デ補償ガ出來ルヤウニスルト云フコトハ、同時ニ規則デ補償ノ程度ト云フモノモ略ハツキリサレルヤウニナリマスノデ、實際ノ場合ニ於テ其他色々ナ法規カラモ補償ガアリマスシ、法規ナシニモ之ニ付テ補償ト云フコトガ行ハレマス場合ガアリ

マスノデ、善イ場合ト惡イ場合ト今日ハアル譯デアルト思ヒマス、一概ニ極ク簡單ニ一ツノ基準ヲ設ケテ補償スルコトニシテシマフコトガ、其儘デ直チニ漁業權者ノ爲メデアルカドウカト云フコトモ能ク考ヘテヤリマセスト、疑問ヲ生ズルヤウナ事態モ出來マスシ、旁尙ホ今後ノ考究ニ俟ッテ此問題ノ決定ヲ致シタイ、斯ウ云フ考デ居リマス

○小池委員 他ニ御尋スルコトモアリマス

ガ大臣ガ御出席ニナツテ居リ、大臣ニ對スル質問デ私ヨリ先ノ方ガアリマスカラ其方ニ讓リマス

○村上委員 御承知ノ通り漁業法ノ制定ハ明治三十四年デアリマシテ、四十三年ニ漁業權ニ關スル改正デアッタノデアリマス、爾來時勢ノ變遷ト漁業ノ進歩ニ依リマシテ、實際ニ適應シナイ條項ガ多アルノミナラズ、漁業權問題ハ此漁業法ノ骨子トモ云ウテ差支ナイノダラウト思ヒマス、抑、漁業法制定ノ場合ニ於キマシテハ、此漁業權ナルモノガ主體ニナツテ制定セラレタ法律デアリマス、然ルニ此漁業權ニ對シマシテハ、私共幾多ノ疑問ヲ持ッテ居リマスノミナラズ、漁業權ノ安固ノ上ニ於テモ大ニ憂慮シテ居ル所ガアリマス、只今小池君カラ質問ガア

リマシタ疑點ノ如キハ、最モ其主ナルモノデアラウト思ヒマス、第一ニ漁業法第七條ニ依リマス「漁業權ハ物權ト看做シ土地ニ關スル規定ヲ準用ス」ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、即チ一ツノ私權ニナツテ居ルノデアリマス、故ニ抵當權ノ設定トナリ、賣買讓渡ヲ許サレルト云フヤウナコトニナツテ居リマシテ、漁業組合ノ唯一ノ財産デモアリマスガ故ニ、之ニ依テ金融ノ運用モ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ第二十四條ニ於キマシテハ水產動植物ノ蕃殖保護、船舶ノ航行碇泊繫留、水底電線ノ敷設若ハ國防其他ノ軍事上必要アルトキ又ハ公益上害アルトキハ漁業權ヲ停止シ又ハ行政長官ハ免許ヲ取消スコトヲ得ト云フコトガアルノデアリマス、是ハ漁業權ニ對スル最モ不安ナル條項デアリマシテ、此場合ニ於テハドウシテモ國ガ此漁業權ニ對シテ補償シナケレバナラス義務ガナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、故ニ此事柄ニ對シマシテハ全國水產業者ノ大會ニ於テモ、各地方ニ於テ開會致シマシタ所ノ水產業者ノ集リニ於キマシテモ、是ガ改正ヲ要望スルコトガ實ニ切ナルモノガアルノデアリマス、聞ク所ニ依リマス農林省ニ於キマシテハ是ガ改正ノ必要ヲ認メラレマシテ、

曩ニ大藏省ニ交渉シタケレドモ、此二十四條ノ條項ハ實際ニ於テイケナイト云フコトデアリマスガ、財政ノ都合上昭和五年以來漁業法ノ提案ガ今日マデ引掛ッテ居タト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、若シ果シテ然リト致シマスレバ、假ニ昭和八年度ニ於テハ此問題ガ實現シナイト致シマシテモ、財政ノ許ス場合ニ於テハ政府ハ此條項ヲ必ズ改訂スルト云フ御考ガアルノデアリマセウカ、之ヲ明確ニ承リタイト思フノデアリマス

第二ハ是モ小池君ヨリ御質問ニナリマシタガ、漁業權ノ期間存續問題デアリマス、御承知ノ通り漁業權ハ二十箇年以内ニ於テ行政長官ガ之ヲ定メルト云フコトニナッテ居リマシテ、二十箇年ノ期間ヲ與ヘ得ルコトニナッテ居リマスケレドモ、時ニ或ハ八年、十年ト云フヤウナ短期間ヲ與ヘマシテ、ソレガ爲ニ權利者ハ非常ナ迷惑ヲ致シマス、何レノ漁業權者ニ致シマシテモ、漁業權ハ之ヲ擔保ニ供スルコトガ多イノデアリマスガ、期間ノ短イ爲ニ、期間ガ滿了致シマスレバ更ニ手續ヲ爲サナケレバナラスト云フコトニナリマス爲ニ、非常ナ煩雜ト非常ナ費用ヲ要スルヤウナ狀況ニナッテ居リマス、ノミナラズ債權者ニ於キマシテモ不安ニ驅

ラレマシテ、之ニ對シテ十分ナ貸付ヲシナイト云フヤウナ狀況ニナッテ居リマスガ故ニ、是モ何トカシテ無期限ニシテ貰ヒタイト云フ要望ヲ度々スルノミナラズ、若シイケナイト致シマスレバ或ハ三十箇年ナリ五十箇年位ニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ要望ヲ度々シテ居ルノデアリマスガ、此問題モ此改正ニ實現シナイト云フコトハ私共ノ最モ遺憾ニ思フ所デゴザイマス、之ニ對シテ政府ハ如何ナル御考ヲ持ッテ居ルノデアリマセウカ、現在ノ條文デ即チ二十箇年以内デ宜シイト云フ御考デアリマセウカ、此點ニ付テ御伺ヲ致シタイト思ヒマス

ソレカラ逐條ニ申シマスレバ非常ニ長クナリマスカラ、唯大臣ニ對シテハ二三申上ゲタイノデアリマスガ、第三ハ機船底曳網ノ問題デアリマス、是ハ御承知ノ通り機船底曳網ガ跋扈跳梁ノ爲ニ、沿岸漁業者ハ非常ナ損害ヲ被リ、此儘推移致シマスレバ、或ハ場所ニ依リマシテハ全滅ニ瀕シハシナイカト思フノデアリマス、故ニ漁村救済ノ際ニ於キマシテ機船底曳網ノ爲ニ各府縣ニ對シテ十五萬圓、取締船二艘建造ノ爲ニ二十一萬圓、三十六萬圓ノ費用ヲ以テ是ガ取締ニ當ラレルト云フコトニナリマシテ、私共ハ非常ニ喜ビマシタノデアリマス、ノミ

ナラズ沿岸漁業者ハ恰モ蘇生ノ思ヒヲ爲シタノデアリマスガ、昭和八年度ノ豫算ヲ拜見致シマス、此取締費ナルモノハ僅カハ八隻ニ減ジラレマシテ、取締船ノ建造ハ固ヨリ、各方面ニ對スル補助ノ如キモ半額ニ減ジラレタト云フヤウナ狀況ニナッテ居ルノデアリマス、是デ果シテ機船底曳網ノ取締ガ完全ニ出來ルト云フ御考デアリマセウカ、御承知ノ通り沿岸漁業者ハ其數二百萬ヲ以テ數ヘラル、ノデゴザイマス、故ニ此沿岸漁業者ノ盛衰ハ直チニ國家ノ消長ニモ重大ナ關係ガアルト思フノデアリマス、然ルニ尙ホ其取締ノ完備ヲシナイ場合ニ於キマシテ、此重要ナ費用ヲ削減致シマシタ理由ハ何レニ在ルノデアリマセウカ、此點ニ付テ私ハ御伺ヲシテ見タイノデアリマス

○後藤國務大臣 漁業權ノ問題ニ付テ御尋ノアリマシタ二點、小池君モ同様ナ趣旨ノ御尋ガアッタノデアリマス、漁業權ノ存續期間ノ問題、其外漁業權ノ性質ニ關スル各種ノ問題ハ、餘程是ハ考究ヲ要スル大問題デアルト考ヘテ居リマス、漁業界ニ於テ存續期間ノ延長又ハ之ヲ無期限ノモノニスルト云フヤウナ希望ノアルコトハ承知致シテ居リマス、併ナガラ漁業權ノ今日存在シテ居ル狀態ハ、御承知ノ通り色々複雑ナ形ニ

ナッテ居リマス、之ニ對シマシテ如何ナル改正ヲ加ヘルコトガ最モ漁業權者ノ立場カラ申シ、又沿岸漁民ノ立場カラ、又國家全體ノ漁業ノ進歩ノ上カラ云ッテ宜シイカト云フコトハ、簡單ニ決定ヲ致シ兼ねル問題デアリマス、可ナリ慎重ナ調査考究ヲ要スルノデアリマス、御承知ノ如ク我國ノ漁業權ト云フモノハ、幕政ノ時代カラズト慣行的ニ存在致シテ居リマス、ソレガ漁業法ニ依テ一種ノ私權的性質ヲ持ッテ來タノデアリマスガ、元々果シテ其通りノ實體ノ權利デアリカドウカト云フコトニモ、色々ナ疑問ガアリマス、之ヲ直チニ簡單ニ改正ヲ加ヘルト云フコトハ、餘程考慮シナケレバナラスト問題デアリマス、漁業權ノ問題ニ付テハ、今後モ慎重ナ考究ヲ遂ゲテ、改正スベキ點ガアリマスレバ、改正致シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、唯今回漁業組合ノ働キヲ活潑ニスル爲ノ法律案ヲ出シマス時ニ、其問題モ併セテ解決スルト云フコトハ、致シ兼ねタ次第デアリマス、ソレカラ第二十四條ニ關聯シテ居ル補償ノ問題ハ私共モ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、折角當局ニ於テハ色々努力ヲ致シテ參ッテ居ルノデアリマスガ、財政等ノ關係モアリ、又實際ノ實情ニ適シタ行方ハドウシタラ宜イカト

云フコトニ付テモ、尙ホ考究ヲ要スル點ガアリマス爲ニ、今回ハ提案ヲ致ス運ビニ至ラナカッタノデアリマス、出來得ル限り早ク此問題ノ解決ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○戸田政府委員 機船底曳網漁業取締ニ關

スル御尋デアリマスガ、御話ノアリマシタヤウニ過般臨時議會ニ於キマシテ本省ニ於ケル取締船二艘府縣ニ對シマシテ八十縣分ノ御協賛ヲ得マシテ只今實施中デゴザイマス、其後鐵材等ノ値上リノ爲ニ、造船業ノ方ガ豫算ヲ組ミマシタ當時トハ變化ヲ致シマシタ爲ニ、各府縣及本省トモ建造ガ稍遅レマシテ、此三月末若クハ四月ニナリマセスト、其豫算ニ基ク船ガ出來ナイ狀況デアリマス、一方ニ於キマシテ御話ノヤウニ取締ヲ嚴ニスル必要ヲ感ジマシテ、本年ノ一月一日カラ取締規則ヲ改正致シマシテ、從來トハ面目ヲ一新シタ取締規則ニ依リマシテ、取締ヲ一方ニ著手致シテ居ル次第デアリマス、一方船ノ方ハ只今申上ゲタヤウナ次第デ、未ダモウ一兩箇月經チマセヌト、實際ニ動クヤウニナリマセヌコトハ遺憾デアリマスガ、已ムヲ得ナイノデアリマス、豫算ニ關シマシテハ、八年度豫算ニ於キマシテハ、七年度豫算ノ府縣十縣分ニ續キマシテ、更ニ新ニ八縣分ヲ計上致シマ

シタ次第デアリマス、本省ノ船ノ方ハ、八年度ニ於キマシテハ、一應七年度デ出來マシタ船ノ實蹟ヲ見ルト云フコトニ致シマシテ、計上致シテ居リマセヌ、全體ノ財政ノ都合等モアリマスノデ、出來ルダケノ範圍デ取締ノ實ヲ舉ゲルヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス、此度ノ法律ノ改正ノ中ニモ機船底曳網漁業ハ、從來漁業法ニ根本的ノ規定ガ無カッタノデアリマシテ、唯省令ダケデヤツテ居ッタノヲ、根本ノ規定ヲ此改正法ニ入レマシテ、汽船「トロール」漁業、或ハ捕鯨業ダケガ漁業法ニアリマシタノヲ、此度母船式漁業ト共ニ、機船底曳網漁業ニ付キマシテモ、主務大臣ノ許可ヲ要スルコト、シ、隨テ罰則等ニ付テモ法律ニ基キマスカラ、省令ノ罰則トハ大ニ趣ヲ變ヘルヤウニナリマシタ、サウ云フ點ニ付キマシテモ、機船底曳網漁業ノ取締ニ付テハ考慮ヲ拂ッテ居ル譯デアリマシテ、將來ハ以前ニ比ベマサルト、相當取締ノ實ヲ舉ゲルコトニ付テハ、面目ヲ更メルコトガ出來ルヤウニナラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○村上委員

漁業權ノ問題ニ付テハ大臣ヨリ御答辯ガアリマシタガ、此問題ハ昨今ニ起ッタ問題デハナイ、大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、漁業權ニ對シテハ尙ホ相當研究

スル餘地ガアル、斯ウ云フヤウニ承ッテ居リマスガ、此問題ハ四十三年ノ漁業法ノ改正當時ニ既ニ起ッタ問題デアリマス、折角此漁業法ガ改正セラレテ、漁業權ハ物權トナツケレドモ、補償ノ規定ノナキコト及期間ガアルト云フコトハ漁業權ニ對スル一ノ缺陷デアルト云フコトカラ致シマシテ、全國當業者ハ奮ヒ起ッテ是ガ改正ヲ要望シテ居ル次第デアリマシテ、既ニ政府ト致シマシテハ相當ナ研究ヲシ、相當ナ考ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、只一日延バシニ此二ツノ問題ヲ延サレルト云フコトハ、發達シツ、アル漁業組合ニ非常ナ支障ヲ來タスモノデアリマシテ、如何ナル組合法ノ改正ヲ致シマシテモ、此根本ガ定マラナケレバ、其効果ノ見ルベキモノハ少イト私ハ考ヘルノデアリマス、尙ホ一應大臣ノ御明確ナル答辯ヲ得タイト思ヒマス、ソレカラ機船底曳網ノ問題デアリマスガ、是ハ戸田政府委員ノ御話ノ如ク、漁業法ニ織込マレタト云フコトハ、確ニ機船底曳網取締ノ上ニ一進歩ヲ來シタモノデアルトシテ、私共ハ兩手ヲ舉ゲテ賛成ヲ致スノデアリマス、併シ此法律ノ改正バカリニ依テ取締ガ完全ニ行ハレルモノデハナイト思フノデアリマス、救農及漁村救済ノ費用ヲ議スル當

時ニ於キマシテハ、確ニ昭和八年度ニ於テハ農林省ニ於ケル取締船二艘ヲ増加シ、十六縣ニ對シテハ一萬圓宛ノ補助ヲスル、斯ウ云フヤウナコトニ承ッテ居リマシタニモ拘ラズ、實際ノ豫算ヲ見マスルト、取締船二艘ノ建造ハ之ヲ省カレ、尙且ツ十六縣ノ補助ヲ八縣ニ減セラレタヤウナコトニナツテ居リマシテ、吾々ノ期待ハ裏切ラレタノデアリマスガ、今後之ニ對シテ政府ハ如何ナル御考ヲ持ッテ居ルノデアリマセウカ、之ニ對シテ尙ホ一應ノ御説明ヲ得タイト思フノデアリマス

○後藤國務大臣

漁業權ノ保障ノ問題ハ、先程モ御答致シマシタ通り、其必要ヲ認メテ居リマス、成ベク速ニ解決ヲ致シタイト云フ考デ努力ヲ致ス積リデアリマス、ソレカラ漁業權ノ存續期間ノ問題ハ、漁業權ノ全般ニ互ル大問題デアリマシテ、豫デサウ云フ希望ノアルコトハ能ク承知シテ居リマスガ、漁業權ノ權利ノ全般ニ關スル問題ト共ニ、尙ホ能ク考究ヲスル必要ガアルト考ヘテ居リマスルノデ、其上デ何分ノ改正ヲスル必要ヲ認メマスレバ、改正ヲスルト云フコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○戸田政府委員 底曳ノ漁業ノ取締ニ關スル取締船ノ問題デアリマスガ、是ハ何分ニ

モ豫算ニ關係スルコトゴザイマシテ、水産當局ト致シマシテハ、豫算ナリ財政ノ許ス限りニ於テハ、出來ルダケ十分ノコトヲ致シタイト考ヘテ居リマスガ、私ダケノ考デ今ドウト云フ譯ニモ參リマセヌノデ、希望ハ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○村上委員 機船底曳網ノ罰則デアリマシテ、アレハ今度ノ改正法ニ依リマスト「トロール」ニ準ズルコトニナリマスカラ、罰金刑ニ於テハ相當多額ニ相成リマスケレドモ、裁判所ノ判決ハ「トロール」ニ對シテモ僅カバカリノ罰金刑ニ處スルト云フヤウナコトデアリマシテ、機船底曳網ノ如キ、或ハ「トロール」ノ如キハ少々ノ罰金ナラ先ニ出シテ置イテモヤルト云フヤウナ狀況ニナッテ居ルノデアアルノデアリマスガ、之ニ對シテ體刑處分ヲ付スルト云フヤウナ御考ハナカッタノデアリマスガ、聞ク所ニ依リマスルト、産業問題ニ對シテハ體刑ハ附セナイコトニナッテ居ルト云フヤウナコトデアリマスガ、此漁業法施行規則ニ依リマスレバ、三箇月以内ノ禁錮ニ處スルト云フ條文ガアルノデアリマス、サウ致シマスレバ、何モ體刑ヲ附セラレヌヤウナコトハナイヤウニ考ヘラレノデアリマスガ、之ニ對シテ政

府ハ如何ナル御考ヲ持ッテ居リマセウカ、罰金刑デアリマシテハ、逆モ此機船底曳網ヲ取締ル上ニ於テハ完全デナイト思フノデアリマシテ、ドウシテモ體刑ニ依ラナケレバ此機船底曳網ノ取締ガ十分ニ行ハレナイト考ヘルノデアリマスガ、如何ナル御考デアリマスガ、其點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○戸田政府委員 産業ニ關スル法律ニ於キマシテハ、罰金刑ハ相當程度マデ高クシテ居リマスガ、體刑ニ付キマシテハ御説ノヤウニ從來ナッテ居ルノガ多イノデアリマス、ソレデ先程申上ゲマシタヤウニ法律ニ規定致シマシタ關係上、罰金刑ノ最大限ガ從來ノ省令ノ最大限ニ比較致シマスレバ相當高メラレルヤウデアリマス、一方他ノ根據カラ、省令ニ於キマシテ、或ハ船長等ニ付キマシテハ、或ル程度ノ體刑ヲ科スルコトガ出來マスノデ、現在モサウ云フ取扱ニナッテ居リマス、隨テ體刑ノ方面ハ、基ク法令ノ立法ノ根據ガ違フノデアリマスルガ、船長等ニ對シマシテハ省令ノ範圍ニ於テ體刑ニ付スルコトガ出來マスノデ、其方デ取締ヲシテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○村上委員 私ノ質問ハ是デ一應打切りマス

○小池委員 先程ノ續ヲ少シ——此漁業組

合ノ活動ニ依テ漁村ノ更生ヲ圖ルト云フノデアリマスガ、此資金ノ關係ハドウナルノデアリマセウカ、法律ガ良ク出來テ居リマシテモ、其運用ガ宜シキヲ得ナイト云フト、其法律ノ效果ヲ舉ゲルコトハ極メテ困難デアル、殊ニ從來漁村關係ノ事ハ閑却サレテ居ル傾ガアル、吾々漁業ニ關係アル者カラ見マスト、他ノ生産物ニ比較シテ、是ハ金額ハソレ程大キイモノデハナイ、全國デ二億五千萬圓カ三億圓デアリマスルガ、其生産物ノ中ニハ對外貿易品ニ關係ヲ持ッテ居ル、所謂國際貸借改善ノ上ニハ、他ノ産業ニ比較シテヨリ多クノ貢獻ヲシテ居ルト考ヘテ居ル、是ハ若シ資金ノ方ニ、モウ少シ潤澤ナ途ガ付クナラバ、モット發達スルモノデハナイカ、又領土的關係カラ考ヘテ、土地ニハ相當ニ限リガアリ、容易ニ伸ビルコトモ出來ナイ、大陸ニ足ヲ掛ケテモ中々ムヅカシイ、ケレドモ海上ノコトハ、日本ノ漁業者位勇敢ナ者ハナイ、殊ニ御承知ノ通り今日ハ南亞米利加マデ延シテ居ル、南洋ニモ相當ノ發展ヲシテ居ル、北洋ハ今日モウ既ニ日本人ノ專有圈內ダト言ッテモ宜イ位デアル、斯ウ云フ工合ニ其指導宜シキヲ得、資金關係ノ途ガ付イテ來ルト云フト、相當ニ是ハ伸ビル、此點カラ考ヘテ見

ルト、此漁業組合ヲシテ活動セシムルコトハ矢張資金ノ關係ニアル、其意味合ヲ以テ、今度此漁業組合ノ活動ヲ促スト云フ御方針デアルヤウニ承ッテ居リマスガ、此資金ノ關係ニ付テハドウ云フコトヲ御考ヘニナッテ居リマスガ、差當リ此漁業組合ヲ活動セシムル資金ノ點ニ付テ、大臣及當局ノ御説明ヲ聽カセテ戴キタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 今日漁村ニ有利ノ資金ガ流レマスコトガ困難ナ實情ニアリマス、其困難ヲ排除シタイト云フコトガ今回此漁業組合ニ付テ改正ヲ加ヘル趣旨デアリマス、今マデノ場合デハ、矢張資金ヲ流スノニ甚ダ不便デアッタノデアリマス、斯ウ云フ組織ガ段々ト出來テ參リマスレバ、漁村ニ於テ資金ヲ流シテ貰ヘル仕組ガ出來ル譯デアリマス、隨テ是マデノ色々ナ方面ニ低利資金等ヲ出シマスル施設ガ、漁村ノ方面ニモ相當ニ向ヒ得ル、斯ウ云フコトニ相成ル積リデアリマス

○小池委員 只今大臣ノ御説明ヲ得マシタガ、是カラ段々出シ易クナルグラウ、斯ウ云フ極メテ抽象的ノ御説明ヲ得タノミデハ甚ダ不満足デアリマス、既ニ産業組合關係ニ中央金庫ガアル、サウ云フ方面ニハ相當ノ低利資金モ出テ居ル、漁業組合ニモ若干

ノ低利資金ハ出テ居リマスガ、是ハ漁業者ガ漁業組合ノ機能ヲ働カシムル上ニ於テ、十分デナクトモ、若クハ半分、或ハ半分以上ノ活動ヲ促シ、其機能ヲ完ウセシムルニハドウシテモ資金ガナクテハナラス、先ヅ遠キ將來ノコトハ別トシマシテモ、此漁業法ノ改正ヲ實行スル機會ニ、斯ウシタ方法ニ依テ資金ノ供給ノ途ガアルノダト云フ、何等カ具體的ノ御意見ヲ承ッテ置キマセヌケレバ、漁業法ノ改正モ其能率ヲ上ゲルコトガ甚ダ危ブマレルノデアリマス、モウ少シ具體化シタ大臣ノ御方針ヲ承リタイノデアリマス

○後藤國務大臣 是ハ産業組合等ノ發達ノ場合ヲ見マシテモ同ジヤウナ徑路ヲ取ッテ居ルノデアリマス、改正サレタモノガ段々出來テ來マスルト、今度ハ資金ノ問題ガ自ラ之ニ隨伴シテ參ルノデアリマス、今マデノ漁業組合等ニ對シテ低利資金等ノ融通ヲ致ス事柄ハ今後モ續ケマスシ、又段々斯ウ云フ風ニ改良シタ良イ働キヲスルモノガ出テ參リマスレバ、要求ガ多クナッテ、自然其方ニモ資金ガ向ケラレルト云フコトニナルト思ヒマス、更ニ漁業協同組合等ガ段々發達シテ參リマス、又十分ナ資金ヲ要スルト云フヤウナ時代ニ移ッテ參ルト思ヒマ

ス、其時ニハ又ソレ相當ノコトヲ矢張考ヘテ行カナケレバナラスト云フコトニ相成ルノデアリマス、此組合ノ改正ヲ致シマスコトガ、將來漁村ニ資金ガ裕ニ流レ込メ來ル道ヲ開クト云フコトニ相成ルモノト思ッテ居リマス

○小池委員 モウ少シ進ンデ御尋シタイノデアリマス、無論産業組合ノ生レル時ハ今大臣ノ御話ノ通りデアリマス、總テノ事ハ直チニ今日ノ狀況ニナッタノデハナク、既ニ十數年ノ歲月ヲ重ネテ今日ノ發達シタノデアリマスケレドモ、既ニ發達シタ手本ガソコニアリマスカラ、此多年ノ要望デアッタ漁業組合ノ法律ガ茲ニ定マレバ、活動ハ急速ニ發達スルト私ハ信ジテ居リマス、其發達ニ伴フダケノコトハスルノダ、斯ウ云フコトデハ極メテ抽象的デアリマス、既ニ是ト類似ノモノガ斯ウシタ發達ヲ遂ゲテ居ル、ソレト同ジ歲月ヲ要スルモノデナクシテ、ソレヲ直接茲ニ應用スルコトガ出來レバ、直チニ資金ト云フ問題ガ起ッテ來ルノデアアル、直チニ起ッテ來ル資金ノ問題ニ對應スル政府ノ御方針ガ茲ニアラネバナラスト思ヒマス、漁業協同組合聯合會ノ如キ全國的ノ、丁度産業組合ノ中央金庫ノヤウナモノ、必要ヲ直チニ茲ニ認メテ來ルノデハ

ナイカ、法律ハ出來タ、活動スル資金ニ對シテハ又其時ニ臨ンデカラ考慮スルト云フノデハ、是ハ餘リニ手緩イノデアリマス、私ハ直チニ實行ガ出來ルト思フ、全國的ニ直チニ數千萬ノ金ガ要ルトハ私ハ思ヒマセヌケレドモ、此法律ガ愈々八年ニ實行セラレレバ組織ダケハ一年ノ中ニ私ハ出來ルダラウト思ヒマス、全國ヲ漏ラサズト云フコトハ或ハ出來ナクテモ、大體纏ッテシマフダラウト思ヒマス、是ハ既ニ手本ヲ示サレテアルノデアアルカラ、サウスレバソコニ資金ト云フモノ、必要ヲ感ジテ來ルノデアリマス、其時ニハ其必要ニ應ジテ政府ハヤルノダ、是ダケデハ餘リ抽象的デアリマセヌカ、モウ少シ御考ノ點ガアルダラウト思ヒマス、モウ少シ御洩シヲ願ヒタイノデアリマス

○後藤國務大臣 先程來御答シマシタ以上ニハ、只今ノ所一寸申上ゲ兼ねマス

○小池委員 ソレ以上御聽スルコトガ出來ヌトスレバ唯不満足ヲ以テ質問ヲ終ルヨリ仕方ガナイト思フ、ソレデハ餘リニ法律改正ノ機能發揮ノ上ニ遺憾ヲ感ジマス、最善ノ御考慮ヲ願ッテ質問ヲ終リマス

○谷原委員 今回ノ改正案ノ要旨ヲ承リマス、主トシテ漁業組合ノ機能ヲ發揚セシ

ムルコトニ便宜ヲ添ヘル趣旨ガ餘程盛込ンデアルヤウデアリマス、私共其趣旨ニ對シマシテハ何等疑義ヲ持ツモノデハアリマセヌ、併ナガラ此法案ヲ拜見致シマス、漁業組合ニ或ル企業ヲ許スト云フヤウナ趣旨ニ取レル規定ガ入ッテ居ルコトニ付キマシテ、或種ノ不安ヲ感ズルノデアリマス、其點ニ付キマシテ私ハ御尋ヲ致シタイノデアリマス、現在何レノ漁村デモ隨分經濟上ノ逼迫ニハ陥ッテ居リマスケレドモ、併ナガラドウニカ斯ウニカ漁村ガ此難局ニ當リマシテモ相當生活ヲ持續シテ居リマスノハ、此經濟組織ガ特ニ相互扶助、隣保相扶ケル所ノ組織ニ相成ッテ居リマスノデ、此難局ガ切抜ケ易イコト、信ズルノデアリマス、別ノ言葉デ申シマスレバ恰モ資本主義ト社會主義トヲ旨ク調和的ニ織込ンデアリマスノデ、斯様ナ難局ニ立ッテモ切抜ケ易イ所ガアルカト思ヒマス、即チ漁業組合ノ如キハ特色ナ漁業權ハ持チマスケレドモ、組合自體ニ於キマシテハ何等ノ事業ハシナイ、而シテ其組合員デアアル者ハ棹一本持ッテモ矢張或ル程度ノ漁業ハ出來ル、即チ無資力、無資産ニ等シイ境遇デアリマシテモ、此組合ガ持ッテ居ル漁業權ヲ利用スルコトニ依リマシテ、生活ガ立ッテ行クコトニ相成ッテ居ル

ノデアリマシテ、是ガ即チ消極的ノ意味ニ於キマシテ、漁村ノ生活ノ安全辦ト相成ッテ居ルノデアリマス、所ガ今回ノ改正ニ依リマスルト、漁業組合自身ガ、或ル許可ヲ受ケマス、漁業ヲ自ラ行フコトガ出來ルヤウニ相成ッテ居ルノデアリマス、又漁業組合以外ノ者モ、詰リ漁業者以外ノ者モ、此漁業組合員ニ加入スルコトガ出來ルヤウニ相成ッテ居ルノデアアル、左様ニナリマスルト、即チ資本ノアリマスル者ヲ新ニ組合員ニ加ヘマシテ、サウシテ其資本ノ協力ニ依リマシテ、玆ニ或ハ遠洋漁業ヲ企テルト云フカ、所謂企業的ナ漁業デモ經營シテ行クト云フコトモ出來ルヤウニ相成ッテ居ル、左様ニ致シマシテ、其企業ガ旨ク成功致シマシタナラバ、ソレハ漁村ハ一躍シテ生活ニ色々裕福ナ境遇ニ移ッテ行クトモ出來ルデアリマセウ、ケレドモ中々漁業ノヤウナ一種ノ冒險的事業ハ、所謂天運ト云フコトニ餘程支配セラレマスカラ、一朝失敗ニ終リマシタ時ニハ、其漁村ト云フモノハ今迄ノ消極的安全辦ニ依テ其生活ヲ維持シテ行クト云フコトガ出來ナクナル、即チ玆ニ非常ナ生活ノ窮迫ニ陥ルト云フヤウナ場合ガアリハシナイカ、私共ハ日本ノヤウナ國ニ於キマシテ、進取的ニ漁業ヲ經營スルコトハ洵ニ必要ナコト

デアルト思ヒマスカラ、其趣旨ニ對シテ毛頭反對スル者デハアリマセスガ、左様ナ事業ハ、矢張資本主義ノ一ツノ企業トシテ經營スル餘地ハ澤山アルノデアリマス、ソレデ、ソレハ其方ヘ任セマシテ、漁業組合ハ從來ノ如ク矢張此漁業民ガ一體トナリマシタ、漁村ノ安全ナ生活ヲ圖ッテ行クトガ出來マスルヤウナ組織ニシテ置クノガ宜イノデハナイカ、即チ今回ノ改正ニ付キマシテ、組合員ノ經濟ノ發達ニ必要ナ段々ノ御改正ニ付キマシテハ、大體ハ宜シイガ、漁業組合ニ自ラ漁業ヲ營ムコトヲ許シタリ、或ハ漁業者以外ノ者ヲ其組合員ニ入レタリ致シマスルコトハ、却テ漁村ノ生活ノ安定ヲ破壞スルコトニナリハシナイカ、此處ニ心配ガアリマスルカラ、其點ニ付キマシテ大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○後藤國務大臣 一應水產局長カラ個々ノ點ニ付テ御答致シマシテ、ソレカラ私カラ御答申上ゲマス

○戸田政府委員 ソレデハ私カラ一應御答ヲ致シマス、初メノ御尋ノ漁業組合ニ漁業ノ自營ヲ許シタコトニ付テノ御心配ノ點デアリマスガ、此點ハ自營ヲ許シマスニ付テ、私共モドノ程度ニ之ヲ認メルカト云フ點ニ付キマシテハ、御尋ノヤウナ點ヲ深ク

考慮致シタノデアリマス、一方漁業組合ハ漁業權ノ主體デゴザイマシテ、普通ノ觀念カラ申セバ、權利ノ主體ガ權利ノ行使ヲスルノガ當然デアリマスガ、村々ノ昔カラノ制度其他ノ關係カラ、組合ハ唯主體デアッテ、其權利ハ組合員ニ使ハセルト云フ制度ニ現行ハナッテ居ルノデアリマス、大體ノ考ヘ方トシマシテハ、是ガ實情ニ適シテ居ルノデアリマスガ、漁業ノ性質及沿岸ノ漁業ノ實情カラ考ヘマス、場合ニ依リマシテハ漁業組合ニ或ル程度ノ漁業ヲ自營セシムルコトヲ許ス方ガ、實際ニ適シテ居ル場合ガアルノデアリマス、ソレハ御尋ノアリマスヤウニ、如何ナル漁業デモ廣ク之ヲ爲シ得ルヤウニスルト云フコトハ、却テ漁業組合ノ基礎ヲ危クスルコトニナリマスカラ、大イニ注意シナケレバナライノデアリマスルガ、唯沿岸ニ棲ム魚族デアリマシテ、蕃殖保護ヲ一方ニ於テ行ヒ、ソレヲ組合ノ統制ノ下ニ於テ漁業ヲヤラセル方ガ蕃殖保護上、又沿岸漁業者ノ利益ニナルト云フヤウナ特例ノ場合ニ限ッテ之ヲ許シタイト思フノデアリマス、隨テ法律ニ於キマシテハ、命令デ以テ其制限ヲ設ケ、更ニ行政官廳ノ認可ト云フコトデ其制限ヲ設ケ、更ニ是ハ一般的ノ規定デアリマスガ、組合規

約ノ認可ト云フコトデ監督ガ出來ルコトニナッテ居リマシテ、其點ハ三重ニ監督ガ出來ルヤウニナッテ居リマス、サウ云フ風ニ致シマシテ、特殊ノモノニ限りマシテ、御話ノアリマシヤウナ、所謂企業化シテ、其企業ノ危險ガ、旨ク行ケバ宜イガ、一旦惡ク行ッタ場合ニハ、漁民ノ生活ニ危險ヲ及ボスト云フヤウナ種類ノモノハ之ヲ認メザル方針デアリマス

ソレカラ漁業者以外ノ者ヲ加入セシメタ場合ノ御心配ノ點デアリマスガ、ソレハ提案理由ノ説明ノ際ニモアリマシタヤウニ、一方農村ニ依リマシテハ、相當ニ産業組合ガ發達致シテ居リ、漁村ニ於キマシテモ産業組合加入者ガ若干ハアルノデアリマスガ、漁業權ノ主體トノ關係、及沿岸ノ漁業ノ關係カラ、産業組合ガ利用出來ナイ部分ガ相當多イノデ、漁村ニ於キマシテハ、其經濟更生ヲ圖リマス爲ニハ、漁業組合ニ産業組合的機能ヲ與ヘマシテ、漁村ニ於ケル産業組合的ノ實ヲ舉ゲルト云フコトノ必要ヲ感ジテ居ルノデアリマシテ、其一端ガ此度ノ漁業組合ノ改正中協同組合ヲ認メルニ至ッテ理由ノ一ツデアリマス、隨テ此場合ニ於キマシテハ、單ニ漁業者ノミヲ組合員ト致シマスト不便ガアリマスノデ、今日ノ

現行法デハ漁業従業者ハ組合員タルコトヲ得ナイノデアリマスガ、第一ニ漁業者以外デ組合員ニ加入ヲセシムルコトヲ要スル者ハ漁業従業者デアリマス、漁村ニ於テ一緒ニ働イテ居ッテ、略同様ナル利害關係ニ立ツノデアリマスカラ、此漁業従業者ハ第一ニ加入サセル必要ガアルト思フノデアリマス、其他漁業者、漁業従業者以外ニ、漁村部落ニ於キマシテ平生親シク軒ヲ竝ベテ居ル者ガ、一方産業組合ノ利用モ出來ナイ、漁業組合ノ利用モ出來ナイト云フヤウナ者モアリ得ルノデアリマス、サウ云フ者ヲ加入セシメテ漁村經濟ノ更生ヲ圖ル、一例ヲ申シマスレバ、米ノ共同購入ヲスルト云フヤウナ場合ニハ、ソレ等ノ分子モ網羅スルコトガ、所謂漁村ニ於ケル産業組合ノ實ヲ擧ゲルト云フコトニナルノデアリマス、サウ云フヤウナ趣旨デ漁業協同組合ニ漁業者以外ノ組合員ノ加入ヲ認メタノデアリマス、是モ、御話ノアリマシタヤウニ、漁業ニ關係ノ無イ資本家ガ入ッテ、其組合ガ攪亂サレルト云フヤウナコトデハ、漁業權ノ主體タル漁業組合ノ存在ヲ危クスルコトニナリマス、普通法律ニハ組合員ノ議決權ノコトガ規定シテアリマスガ、此漁業關係ノ法規ハ、御承知ノヤウニ勅令デ別ニ出來テ

居リマシテ、議決權等ニ付キマシテハ其方デ總テ規定サレテ居リマス、ソレデアリマスカラ、只今申上ゲマシタヤウニ、漁業者以外ノ加入者ヲ一方ニ於テ認メマスガ、其爲ニ漁業權ノ基礎ヲ危クスルヤウナコトガ起ッテハイケマセスカラ、議決權等ニ付キマシテハ、サウ云フ根本ノ問題ヲ覆ヘサレルト云フヤウナコトノナイヤウニ、特別規定ヲ設ケル積リデ居リマス、一方組合規約ノ認可等ニ付キマシテモサウ云フ點ヲ十分考慮スルヤウニ、省令ナリ方針ナリデ定メマシテ進ミタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○谷原委員 組合ガ自ラ漁業ヲ營ムコトヲ得ト云フ途ヲ開イタノハ、企業化セシムルト云フ趣旨ニ非ズ、寧ろ魚族ノ保護蕃殖等ニ關係ノアルヤウナ企業ハ、自ラ組合ヲシテ爲サシメテ、濫獲其他ノ弊害ナキヤウニ、漁場法ト云フヤウナ趣旨ガ含マレテ居ルヤウニ承ッタノデアリマスガ、果シテ然リト致シマスナラバ、漁業法ニ於キマシテ、既ニ蕃殖保護ニ付キマシテハ、ソレノ規定モアリマスシ、且ツ之ニ依テ命令事項モ段段出テ居リマスシ、殊ニ又今回ノ此御提案ノ中ニモ水産動物ノ蕃殖保護其他漁場ノ利用ニ關スル施設、斯ウ云フヤウナコトモ

新規ナ御提案事項トシテ擧ッテ居リマスシ、又漁業組合ノ規約ヲ以テ左様ナコトハ如何様ニモ出來ルノデアリマス、若シ組合ガ事業ヲシテ金儲ヲスルト云フコトニ出發シナイ限り、只今ノヤウナ此組合自ラ事業ヲ致シマシテ、若シ失敗ヲ致シマシタ時ニハ、非常ニ窮迫ニ陥ルト云フヤウナ危險ノアル規定ヲ置ク必要ハナイ、御承知ノ如ク漁民ハ朝起キマスト直グニ海上ヘ行キマシテ、海上デ働イテ居リマスノデ、經驗等カラ來リマス所ノ社會常識ハ極ク迂イノデアリマス、若シ左様ナ組合ニ、新シイ學問ヲ致シマシタ、企業心ニ富ンダ組合長ガ、斯ウ云フ事業モ宜カラウ、ア、云フ事業モ宜カラウト云フノデ、無智ナ漁民相手ノコトデアリマスカラ、ソコニ一種ノ企業心ガ働キマシテ、色々ナ漁業ニ手ヲ出シマシテ失敗ヲ致シマスト云フト、此漁村ト云フモノハ非常ナ私ハ窮迫ニ陥リハシナイカト思フ、隨テ若シ企業ト云フコトニ付テモ必要ガナイナラバ、此規定ヲ置ク必要ハナク、又左様ナ必要ガアッテ此規定ヲ設ケルト云フコトハ、從來消極的ニ於キマシテハ生活安定ノ出來テ居リマスル漁村ノ經濟組織ニ、一ツノ龜裂ヲ與ヘハシナイカ、私ハ此點ヲ非常ニ心配スルノデアリマス、又漁業者以外ノモノヲ加入

セシムルコトニ付キマシテ、従業者云々ト云フ御話ガアリマシタガ、従業者ノ加入ノ如キハ必要デアリマセウ、然ラバ漁業従業者ト云フモノヲ特ニ是ハ指定シテ、法文ヲ改正ナサルコトガ宜シイ、或ハ當局者ヲ信賴セヨト仰シヤルノカモ知レマセマスガ、當局者ハ何時御送りニナルカ分リマセヌノミナラズ、先輩ニ依リマシテ今マデ段々質疑應答ガアリマシタガ、アノ公益ノ爲ニ漁業權ヲ剝奪サレタ補償問題ノ如キ、漁業以外ノ權利ヲ公益ノ爲ニ收用サレマシタ時ニハ、何時モ國家ハ補償致シテ居ルデアリマセヌカ、即チ土地收用法ノ如キ最モ古クカラ行ハレテ居ル規定ガ、陸ノ問題ニ付キマシテハ何等ノ疑ナク行ハレテ居ルニ拘ラズ、漁業ノ方面ニ於テハマダソコニ研究ノ餘地ガアル、或ハ國家ノ財政ノ爲ニドウトカ云フ程、此漁業問題ハ陸ノ問題ニ比較致シマスと不徹底デアリマス、故ニ當局ヲ信賴セヨト申サレマシテモ、吾々ハ左様ニ何モ彼モ當局ノ自由裁量ニ御委セスルコトハ出來ナイノデス、寧ろ従業者ナラ従業者ト云フモノ、必要アル場合ニハ、従業者ト明文ニ御書キニナルガ宜カラウト思フ、或ハ其他隣ニ魚商人ガ居ル、或ハ魚商人以外ノ商人ガ居ル、ソレト共ニ米ヲ買フ云々ト御話ニナリマシタケ

レドモ、此漁業組合ニ産業組合同様ナ機能ヲ與ヘマシタ中ニハ、購買組合ハ入ッテ居リマセヌカ、是ハ利用組合ト、販賣組合ト、信用組合ト、大體此三ツヲ例示致シテアリマシテ、尙ホ廣ク解釋スルナラバ「前各號ニ掲ゲルモノ、外組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル施設」中ニ入ルノカハ知りマセヌガ、産業組合ナルモノノアノ明文ニ對照シテ見マスルナラバ、購買組合ナルモノハ入ッテ居ナイヤウデアアル、購買組合ナドガ入ッテ居ナイト致シマスルナラバ、只今ノ例ニアリマシタ御説明ハ當ヲ得ナイノミナラズ、漁村ニ於キマシテ販賣ト利用ト信用ダケノ組合ヲ、漁業者ノミガ作ル場合ニ於キマシテ、其漁業者以外ノモノガ購買ヲ必要ト致シマスル場合ニ、相伴ウテ將來協同シテ此産業組合ヲ起スト云フコトハ出來ナイ結果ニ相成リハシナイカ、即チ左様ナ事ハ此漁業者以外ノモノヲ特ニ組合員タラシムルト云フ所ノ理由ニハ相成ラスモノト私ハ思フノデアアル、尙ホ此點ニ付テ附加ヘテ御尋致シマスルガ、農林大臣御承知ノ如ク、産業組合ノ如キハ從來ノ組合役員ノ背任其他ノ關係ガアリマシテ、旨ク運用ガ出來テ行カナイ、ソコデ今度ハ英斷ヲ以テ或ル期間内ニ保證責任、若クハ無限責任ニ改メルコトニシテ、

共ニ俱ニ其組合ノ進展ニ努力セシムルヤウナ組織ニ改メタノデアリマスルガ、私共其趣旨ハ結構デアラウト思フ、從來ノ成績ニ對シマシテ必ズ其必要ガアッタト思フノデアリマスガ、然ラバ同ジ産業組合ト同様ナ組織働キヲ持タス所ノ、今回ノ此經濟ニ必要ナル共同施設ニ付キマシテモ、ヤハリ無限責任若クハ保證責任ニ致シマス組合員ハ、相互ニ戒メテ相互ニ責任ヲ以テ、組合ノ紊亂ヲ生ゼシメナイヤウニスルト云フコトニ、初カラ建前ヲナサルコトガ必要デナイノデアリマセウカ、既ニ産業組合ニ付テハ改メラレタ以上、同様ナ形態、同様ナ目的ヲ持ツモノニ對シテ、一旦缺陷ヲ認メタ古イ組織ヲ尙且ツ之ヲ許サレルト云フノハドウ云フ趣旨ナノデアリマセウカ

○戸田政府委員 御尋ノ三點ニ付テ御答致シマス、第一ノ點ノ協同組合ノ自營ノ問題デアリマスガ、是ハ自營ヲ致シマス際ニ、組合ガ全然組合員ト別個ノ人ヲ雇ッテ自營ヲスルト云フコトヲ認メサセナイ趣旨デゴザイマス、命令及官廳ノ認可及規約ノ認可デ縛ッテ行ク積リデアリマス、吾々ノ考デハ、組合ガ自營ヲ致シマスレドモ、實質上、詰リ其從業者ハ組合又ハ其家族ニ限ッテ、水産動植物ノ栽培ヲ行フト云フコトニ致シテ行

キタイノデアリマシテ、丁度産業組合ノ方デ申シマス、製絲組合ナド、詰リ法律的ノ形デハ相類シタヤウナ考方ノモノニシテ行キタイト考ヘテ居リマス、御心配ノヤウナ點ヲ防グ意味ニ於キマシテ、サウ云フ用意ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ點ハ、米ノ共同購買ノ例ヲ申上ゲマシテ、ソレニ入ッテ居ラスノデハナイカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ入ッテ居リマス、第四十三條ノ二ノ第四號ノ「組合員ノ漁業又ハ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル物又ハ資金ノ供給ニ關スル施設」ト云フモノガデアリマシテ、詰リ購買組合ニ是ガ當ルモノデアリマス、ソレカラ第三ノ御尋ノ責任制度ノ問題デアリマスガ、是ハ此度組合ノ機能ヲ擴張スル爲ニ當然伴ッテ起ル問題デアリマシテ、御説ノ如ク産業組合ニ於キマシテハ最近ノ臨時議會デ、從來アリマシタ有限責任ノ制度ヲ今後五箇年ヲ限ッテ、無限若クハ保證ニ直サナクテハナラヌト云フヤウニ進ンダノデアリマス、漁業組合ノ狀態ハ先程資金問題ニ付テノ御尋ニ對シテ、大臣カラ御答ノアリマシタヤウニ、此際組合ノ基礎ヲ固メマシテ、將來發展ヲスルニ付キマシテノ用意ヲスルコトニ在ルノデアリマスカラ、サウシテ今日ヨリ一步ヲ進メルト云フコトデアリ

マスノデ、産業組合ハ御承知ノヤウニ、相當長イ間掛ッテ發達スルノデアリマスガ、漁業組合ハ今迄ノ構成其他一般漁業權トノ關係カラ、産業組合的ノ事業ニ付キマシテハ、産業組合ト同列ニハ進ミ得ナイノデアリマス、隨テ責任制度ヲ、一方ニ於テ出資制度ヲ認メタカラト云ッテ、突然無限及保證ニスルノハ一足飛ビノ感ヲ懷イテ居ルノデアリマシテ、其途ヲ開クニハ先ヅ漸ヲ逐ウテ進ム方ガ穩當デアラウト考ヘマシテ、從來産業組合ノ採ッテ居リマシタ三ツノ組織ヲ其儘採ッタノデアリマス、其點ハ無限、保證ノミニ限ルノハ、今日ノ漁業組合ノ全體ノ狀況カラ申シマス、一足飛ビニナルト考ヘマスノデ、有限ヲモ認メタ次第デアリマス、唯此度ノ漁業法ト稍異ッテ居リマスルノハ、總テノ組合ヲ出資制度ニスルト云フコトハ、矢張實際ト致シマシテ一足飛ビニナル感ヲ持チマスルノデ、只今述ベマシタ四十三條ノ二ノ三號及四號ノ事業ヲ行ヒマス組合ハ、出資制度デナクテモ出來ルモノト認メテ居リマス、其方ハ出資ニハナリマセヌガ、矢張責任制度ハ無限及保證ト云フコトニ致シテ居リマス、其場合ニ、出資制度ヲ採ラス場合ニハ、有限ト云フコトガアリ得ナイノデアリマスカラ、無限及保證ニ限ッ

タ譯デアリマス、サウシテ其結果トシマシテ、今度ノ改正ニ依リマスルト、漁業組合ノ制度トシマシテハ、分類スレバ三ツニナリ得ル譯デアリマス、丁度出資制度ヲ採ル協同組合ト、出資制度ヲ採ラズシテ責任限度ノミヲ定メテアル特定ノ四十三條ノ二ノ三號四號ヲ行ヒ得ル無限保證ノ組合、從來ト全然變ラナイ組合、經費ノミノ分賦ニ依テヤル組合ト、此三種類ト云フコトニナリマス

○後藤國務大臣 大體水産局長カラノ御答デ要ヲ盡シテ居ルト思ヒマスガ、漁業組合ニ漁業ノ自營ヲヤセルト云フコトニ付テ、色々御懸念ノ御話ガアリマシタガ、御尤ト思ヒマス、吾々ノ方モ其懸念ニ對シテ用意ヲシテ掛リマシテ、矢張漁業組合ガ自分デヤルコトガ、漁業組合自體ノ爲ニモ、ヤルコトヲ認メタイト、斯ウ云フ趣旨デアリマス、御趣旨ニ於テハ吾々ノ考ヘテ居ル所ト少シモ變リガナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ組合員ニ入レル者ハ漁業者以外ノ從業員、或ハ其他ノ者モ這入り得ルコトニナツテ居ルノハ、廣過ギテ非常ニ危險ヲ生ジハセスカト云フ御懸念モ一應御尤ト思ヒマス、只今水産局長ガ申上ゲマシタ通り、

漁業組合ハ現在ノ仕事ニ止ラズ、ズツ廣汎ニ從業員ノ生活ニ互ツテノ仕事ヲモヤツテ行クト云フコトニナリマシテ、從業員ノ入ルノガ適當ナ場合モアリマスガ、又漁業組合ヲ造ツテ居リマスル一地域ノ中ニ入ッテ居ル、他ノ漁業者デアリマシテモ、ソレダケヲ仲間外レニシテ置カヌ方ガ、工合ガ好イト云フ場合ガ起リ得ルト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ漁業者以外ノ者モ入り得ルト云フコトニ致シタ譯デアリマス、漁業組合ノ働キノ性質カラ申シマス、無暗ニ他ノ者ガドシ／＼入ッテ來ルト云フコトハ、漁業組合自身ガ容易ニ認容ノ出來ナイコトデアラウト思ヒマスシ、漁業者ガ、主體ニナツテ居リマスルカラ、漁業者ガ是ダケノ者ハ是ダケノ仕事ヲシテ行ク上ニ入レタ方ガ便利ダト云フモノハ入り得ルヤウニ認メテ置クコトガ、漁業組合自體ガ、今後進ンデ廣イ仕事ヲシテ參ルノニハ便宜ダト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○谷原委員 餘リ多クハ申上ゲマセヌガ、漁業組合ガ自ラ權利ヲ得テ居ルコトニ付テ、恰モ製絲組合ノ如ク云々ト云フ御話デゴザイマシタガ、左様ナ趣旨デアラナラバ、新ニ提案サレタ中ニ、所謂利用ニ關スル施設、製絲組合ノ如キハ利用組合ダケヲ入レ

テヤツテ居ルノデアリマスカラシテ、別ニ新ニ組合自ラ漁業ヲ爲スト云フ明文ヲ設ケル必要ガナイ、利用組合ニ依リマシテモ、或ハ又此新ニ提案ノ中ニ在ル漁業ト云フコトモ入ルト思ヒマスガ、併シ、モウ是レ以上御答ハ求メマセヌ、又有限責任ヲ新ニ加ヘタコトニ付キマシテハ、一足飛デハイカナイカラト言ハレルノデアリマスガ、從來有限責任デ失敗ヲ致シマシタカラ、ソコデ無限ト保證ニ致シマシタ今日ニ於キマシテ、即チ苦イ經驗ヲ嘗メテ來タ今日ニ於キマシテ、其失敗ノ歴史ヲ、復タ漁業組合ニ限ッテ初メカラ始メナケレバナラスト云フヤウナコトハ、私ハ執ルベキ策デヤナカラウト思ヒマスケレドモ、是モ是レ以上ハ御答ハ求メマセヌ、ソレカラ漁業協同組合員デアリマスガ、是ハ必ズ此組合員が出資一口ヲ持チ、其出資ノ拂込ヲシナケレバナラストコトニナリマスガ、隨分漁業者ノ中ニハ棹一本デ活キテ居ッテ、出資ノ出來ナイヤウナ者モアリマスガ、是ハ皆杞憂カハ知りマセヌガ、若シ出資ノ出來ナイ場合ニ於テハ、此組合ニ入ルコトガ出來ナイ、隨テ其漁業協同組合ノ持ッテ居ル所ノ漁業權ヲ、自ラ行使スルコトガ出來ナイヤウナコトニナルノデハナカラウカ、其點ヲ簡單ニ承リ

タイ、ソレト今一ツハ遭難ニ關スル施設ガ出來ルコトニナツテ居リマスガ、是ハ自治的ニヤツテ行ケマスレバ結構デアリマス、併ナガラ、漁村ノ逼迫狀態ハ、他ノ勞働者ヨリモヨリ以上急迫致シテ居リ、而モ其遭難率、災害率ハ可ナリ多イノデアリマスカラ、彼等ノ自治ニ俟ッテ、其目的ヲ完全ニ達スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、是ハ私ハ本會議ニ於テ、數字ヲ擧ゲテ御尋シタコトガアルノデアリマスルカラ、當委員會ニ於キマシテハ、何モ之ヲ繰返ス譯デアリマセヌケレドモ、之ヲ他ノ勞働者例ヘバ鑛山デ働イテ居リマスル鑛業勞働者、或ハ所謂自由勞働者ト稱スル或ル範圍ノ人々、斯ウ云フヤウナ人々ハ鑛業法第八十條ナリ、或ハ又勞働者災害扶助法ナリ、或ハ勞働者災害扶助責任保險法ナリニ依リマシテ、所謂社會保險ノ恩典ヲ受ケマシテ、相當災害ニ對スル救済ガ出來テ行キツ、アルノデアリマス、隨テ若シ勞働者災害扶助法ノ第一條ノ第五號ニ所謂「前各號ニ掲グルモノ、外危險ナル事業」トアルガ、是程遭難率ノ多イ漁業者ノコトデアリマスカラ、所謂危險ナル事業ト云フコトニ勅令ヲ以テ認定ヲ致シマシテ、而シテ今回幸ヒ御提案ノヤウナ改正案ガ出マスルナラバ、

其漁業組合ガ政府ト保險契約デモスル、斯ウ云フヤウナコトニ仕向ケテ參リマシタナラバ、此災害ニ對スル所ノ豫防法ト云フモノガ、完全ヲ期スルコトガ出來ルノデハナイカト思フノデアリマス、是等ニ對シマシテ、大臣ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレルノデアリマセウカ、即チ今回此提案ガ通過サレマスルト云フト、遭難防止、又ハ遭難救恤ニ關スル施設ハ、矢張自治的ニヤラサウト云フ御考デアリマスカ、或ハ社會保險ノ制度ノヤウナモノモ是ト聯關セシメテ、此救恤ガ徹底スルヤウニナサラウト云フ御意思デアリマセウカ、其點ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 今ノ點ハ一應水產局長カラ御答申上ゲマシタ後、私カラ申上ゲマスコトヲ御政府委員 只今御尋ノ第一ノ點ハ、御尋ノヤウナ場合ニ對スル用意ヲシテ居ル積リデアリマス、ソレハ御承知ノヤウニ產業組合ハ總テ出資制度デアリマスガ、此度ノ漁業法ノ改正案ニ依ル漁業組合ハ、先程述ベタヤウナ形態ガ三種類アルノデアリマシテ、出資ヲ認メマスノハ組合規約ニ依テ認メルコトニナッテ居リマシテ、其組合ノ狀況ガ出資制度デアリマスコトニ適當デナイモノモ、總テ出資制度ニシヨウト云フノデ

ハナク出來テ居リマス、併ナガラ產業資本ノコトヲ先程申上ゲマシタヤウニ行ヒマスノニハ、是ハ全然經費制度ノ組合デハ本質上不適當デアリマスカラ、組合ノ責任ヲ無限若クハ保證ニ直シタノデアリマス、出資制度ヲ採ラナイデ、サウ云フコトヲ加ヘルヤウニ認メテ居リマス、ソレカラ遭難防止ノ事業ニ關スルコトデゴザイマスガ、是ハ金額等ニ於キマシテハ未ダ甚ダ十分トハ申サレマセスガ、相當ノ經費ヲ有ッテ居リマシテ、協同施設ニ對シマシテハ遭難船其他遭難防止ノ協同施設等ニハ補助金ヲ出セルコトニナッテ居リマシテ、年々希望ノアリマス所ニハ若干、ハ補助等ヲ出シテ居リマス、之ニ依リマシテ救難船ヲ漁業組合デ設ケ、或ハ遭難防止ノ施設ヲシテ居ルノガ相當ゴザイマスガ、年々希望ニ大體應ジテ居リマス、補助ノ申請ノアリマス場合ニハ大體ハ應ジテ居リマス、ソレカラ最後ノ御尋ノ點ニ付キマシテハ、將來漁船ノ保險ノ組合等ガ出來ル場合ガアリマスレバ、保險其モノニハ相當困難ガアラウト思ヒマスガ、少ク共保險ノ共濟積立トシテ行ハシメルト云フヤウナ途モ、漁船保險等ガ行ヘマシ場合ニ於キマシテハ、途ガ附イテ行カウト思ヒマスガ、是ハマダ政府トシテハ調査中デ、

將來ノ問題デアリマスカラ、只今ノ問題デハアリマセスガ、サウ云フ風ナ途ヘ進ンデ行クノガーツノ方法ト考ヘテ居リマス、御尋ノ法律ノ解釋ナリ運用トシテ、直チニ實行ガ出來ルカドウカト云フ點ニ付キマシテハ、相當マダ考究ノ餘地ナリ、解釋ノ餘地ガアル問題デハナイカト存ジテ居リマス

○後藤國務大臣 出資ガ出來ナイヤウナ組合員ガアル場合ニ困ルヤウナコトガアリハシナイカト云フ御懸念ノ點ニ付テハ、今水產局長カラモ申上ゲタノデアリマスガ、サウ云ツヤウナ懸念ガ今日ノ漁業組合ニ付テハアルト思ヒマス、デ漁業組合漁業協同組合ト云フヤウナモノ、改正ヲ致シマスルトカ、色々救恤ヲ設ケテアル譯ナノデアリマス、矢張現状カラ稍理想的ナ狀態ニ移ッテ行ク經過ニ、サウ云フ不便ナル所ヲ成ベク無理ノ行カナイヤウニシテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二段ニ御話ノ、法律ノ運用ニ依テ漁業者ノ危險ノ場合ノ救護ノ施設ガ出來ナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ可ナリ限定サレタ範圍デ運用サレルコトニナッテ居ル法律デアリマス、直チニ漁業者一般ガ危險ニ曝サレテ居ル仕事デアルカラト云フノデ、アノ法律ノ適用ガ出來ルカドウカト云フコトニ

疑問ガアルト思ヒマス、吾々ノ方デモ能ク一ツ是ハ講究シテ見タイト存ジテ居リマス、○小池委員 特ニ質問ノ御許ヲ願ヒマス、是ハ當局者ノ方ト或ハ私ノ所見ヲ異ニスルノ結果デセウガ、當局デハ大分是ハ歲月ヲ要シナケレバ、機能ノ完全ナル發達ヲシナイヤウニ御考ヘニナッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ如何ニモ御尤デアリマス、漁業者ハ各種各樣デアリマスカラ、サウ一足飛びニ出來マスマイガ、サウスルト玆ニ御尋致シテ見タイコトハ、此改正法律ノ機能發揮ヲスル爲ニ、漁業組合ヲ指導、誘掖、又一面ニ監督スル、斯ウ云フ事ノ方法ニ付テハドウヤウナ豫算ヲ以テ御實行ニナルコトデアリマスカ、ソレカラ又或ハ協同漁業組合トカ、或ハ聯合會トカ云フコトガ出來ルガ、是ハ又御見込ニ依ルト相當ノ歲月ガ要スル、若干獨リ立チガ出來ナイヤウナ意見ノヤウデアリマスガ、隨テ保護獎勵ヲ加ヘテ行ク、保護獎勵ヲ加ヘナケレバナラストスレバ、是ハ矢張豫算ノ關係ヲ以テ、相當ノ補助金ヲ與ヘテ、指導シテ行クト云フヤウナコトハ、從來ノ此種ノ團體ノ發達ニハ當然ノ道行キニナッテ居ル、矢張豫算ニ關係スルノデアリマスガ、即チ要約スレバ此改正法律ノ實行ノ爲ニ、ドウヤウナ方法、豫

算ヲ以テ、指導、誘掖、監督ヲ爲サルト云フ御意見デアルカ、又各府縣ノ聯合會、若クハ中央聯合會ト云フヤウナ組織ノ出來タ場合ニハ、相當ノ補助金ヲ御交付ニナルト云フコトニ豫算ガ出來テ居ルノデアリマスカ、此二點ヲ御尋致シマス

○後藤國務大臣 新シク出來テ參リマスノデ、漁業組合、漁業協同組合ト云フヤウナモノ、出來方ヲ能ク指導シ、又サウ云フモノガ段々出來ルヤウニ獎勵スルト云フヤウナコトノ爲ニ、本省及地方ニ人ノ費用ヲ取ルコトニ致シタイ、今度追加豫算ニ餘リ巨額ノ金額デアリマセスケレドモ、計上スルコトニ相成ッテ居リマス、助成ノ問題ハ、色々地方ニ於テ團體其他デ講習ヲシタリ、道府縣デ是等ノ團體ニ對シテ、色々ナ指導獎勵ヲスルト云フヤウナ場合ノ若干ノ費用ヲ計上致シテ居リマスカラ、御諒承ヲ願ヒタイ

○鈴木委員 私ハ簡單ニ御尋シタイノデスガ、漁業法ノ中ニ、漁業ニ從事スル者ノ雇傭竝ニ傭人及遺族ノ扶助ニ關シテハ、勅令ヲ以テ之ヲ規定スルトナッテ居リマスカ、其規定ノ成行ハドウ云フコトニナッテ居リマセウカ

○戸田政府委員 便宜私カラ御答申上ゲマ

ス、是ハ最近ニ於テ考究ヲ重ネマシテ、昨年地方主任官會議等ニ於キマシテモ、此問題ヲ講究致シテ居リマス、マダ實現マデニハ至ッテ居リマセヌガ、從來之ニ付テハ餘リ考究サレテ居リマセヌ、最近ニハ之ニ手ヲ著ケタイト思ッテ考究致シテ居リマス

○鈴木委員 此四十條ノ規定ハ、私ノ記憶ニ依リマス、漁業法發布當時カラアル規定デアリマス、近頃ノ時勢ニナリマス、非常ニ必要ナ規定ト考ヘル、ソレガ何十年ノ間マダ條文トシテ殘ッテ居ルダケデハ甚ダ遺憾ニ考ヘルノデアリマスカ、今マデ其儘ニナッテ居ッタト云フコトハ致方ナイコトト考ヘルノデアリマスカ、規定ヲ置クダケデナク、實際ノ必要ガアルト考ヘマスカ、只今ノ御話ニ依リマス、多少考ヲ進メタト云フ御話デアリマスカラ、尙ホ之ヲ實行サレルナラバ、徹底的ニヤッテ戴キタイヤウナ希望ヲ持ッテ居リマス、尙ホモウ一ツ伺ッテ置キタイコトハ、漁業ノ種類ノコトデアリマスカ、漁業法ノ第四條ニ依リマシテ、色々漁業ノ種類ガ決ッテ居リマス、ソレガ更ニ施行法ニ依リマシテ第十二條、第十三條、第十四條ト云フヤウナ規定ガ又出テ居リマスカ、此中ニ更ニ分レテ免許漁業法ノ名稱ト云フコトデ農林大臣ガ告示ヲサレ

テ居リマス、是ハ御改正ニナル御考ガ御有リデセウカドウデセウカ、此點ヲ御伺シテ置キタイ

○戸田政府委員 此漁業法ノ改正ニ伴ヒマシテ、施行規則ノ改正モ致サナクテハナラヌト思ッテ居リマス、ソレハ今御尋ノ點ニ付キマシテハ、相當考究ヲ重ネル必要ガアリマスノデ、ドノ程度ニソレニ觸レマスカト云フコトニ付キマシテハ、只今ノ處デハ明確ナコトハ申上ゲ兼ねテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○鈴木委員 實ハ私ハ大變ニ面倒ナ事件ニブツカリマシテ困ッタコトガアル、漁場ト云フコトハ、此施行法ニ依リマス、漁場ノ定義ト云フモノガ決ッテ居リマス、「左ノ區域ヲ以テ免許漁業ノ漁場トス」斯様ニ施行法ノ第十六條ニ漁場ノ定義ガ決ッテ居リマシテ、漁場ト云フノハ其漁場ノ中デ漁業ガ爲シ得ルコト、私ハ考ヘテ居リマス、所ガ實際ノ取扱ニ當リマシテ、漁場ノ中デ漁業ガ出來ヌヤウナ場合ニブツカリマシテ非常ニ困ッタノデアリマスカ、實際當局ノ御考デハ漁場ト云フコトヲドウ御考ヘニナリマスカ、漁場ノ中デアレバ漁業ガ隨意ニ出來ルト考ヘテ宜シウゴザイマセウカ、其邊ノ御解釋ヲ伺ッテ置キタイ

○戸田政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ告示デアリマスケレドモ、雛形ガ示サレテ居リマシテ、漁場ノ要點ガ示サレテ居リマシテ、其要點ハ動カスコトガ出來ヌト云フ風ナ解釋デ實際ハ取扱ッテ居リマス

○鈴木委員 今ノヤウナ御話ヲ伺ヒマス、告示ト施行法トノ關係デスガ、施行法ノ上カラ見ルト、別ニ要點ガドウダスウダト云フコトハ書イデナイ、免許漁業ト云フモノハ漁場内デ漁業ガ出來ルト云フヤウニ考ヘテ居リマスカ、特ニサウ云フ風ニ制限シナケレバナラヌト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ

○戸田政府委員 是ハ施行規則ノ二十三條ノ解釋カラ出テ來ル問題ト思ヒマス

○鈴木委員 二十三條ハ手續ヲ書イデアルダケノヤウニ考ヘルノデスガ、漁場ノ定義ニ當ルモノヲ茲ニ書イデアルヤウニハ考ヘラレマセヌ、第十六條ニハ「左ノ區域ヲ以テ免許漁業ノ漁場トス」斯ウ書イデアルノデアリマシテ、漁場ニ於テ漁業ヲスルコトガ出來ヌト云フノハドウ云フコトデセウ

○戸田政府委員 二十三條ハ手續デハゴザイマスカ、是ハ出願ヲスル手續デアリマシテ、ソレニ基イテ免許ヲスルト云フ關係ニナル、其關係カラサウ云フ解釋ガ出テ來ル

ト云フ風ニ考ヘマス

○鈴木委員 少シ分リマセヌガ、私ノ希望ヲ申上ゲマス、此要點ヲ決メルト云フコトハ非常ニ困難デ、要點ガ一間違ッテ、五間違ッタノト云フ争ニナレバ、實際ニ於テ網ノ敷設ガ出来ヌヤウナ場合ニ始終遭遇スルノデアリマス、ソレデアリマスカラ漁場ト云フモノヲ決メマシテ、漁場ガ免許ノ漁場デアッテ、漁業ヲ爲シ得ル區域ト云フコトヲ考ヘマシタナラバ、此漁場内ニ於テハサウ窮窟ニ網ヲ張ラサヌデモ宜イデヤナイカト考ヘルノデスガ、此度此漁業法改正ニ當リマシテ、施行規則ニモ自然御觸リニナルト云フコトデアリマシタナラバ、ソナ面倒ナ煩雜ナコトハセズ、漁場デアリ限リ自由ニ漁業ヲサセ得ラレルヤウニ私共希望致シテ置キマス

○戸田政府委員 只今ノ點ハ從來役所内ノ取扱デモ御話ノヤウナ不便ナ點ガアリマシテ、ムツカシイ問題デアリマスノデ、考究致シテ居リマス

○鈴木委員 モウ一ツ簡單ナ質問ヲシタイト思ヒマス、漁業協同組合ノコトデスガ、私遅刻致シマシテ當局ノ御説明モ伺ヒマセヌデシタシ、又此條文ヲ十分讀ム暇モナカッタノデスガ、漁業組合ト漁業協同組合トハ

ドウ云フ關係ニナルノデアリマスカ、分リ易イヤウニ御説明願ヒマス

○戸田政府委員 漁業組合ト漁業協同組合トハ別ニ關係ハナイ譯デアリマシテ、漁業組合中ニ漁業協同組合タルモノト漁業協同組合ニ非ザルモノト二種類ヲ認メタ譯ニナルノデアリマス、漁業協同組合ハ出資制度ヲ採リ、サウシテ此四十三條ノ二ノ條文ノ三號四號ノ事業ヲ行フモノガ漁業組合デアリマス、漁業協同組合ニ非ザル漁業組合ハ、出資制度ヲ採ラナイ漁業組合デアリマス、出資制度ヲ執ラザル組合中、四十三條ノ二ノ三號及四號ノ仕事ヲ爲ス者ハ、責任制度ヲ明ニスル必要ガアリマスノデ、其責任ノ規定ヲ設ケタト云フコトニナリマス、四十三條ノ二ノ一號、二號若クハ五號ノヤウナ仕事ヲ行ヒマスノハ、漁業權ニ即シ、所謂漁業ト云フコトニ直接關係シタ事業ダケヲ行フノデアリマスカラ、ソレハ經費分賦ノ制度ノ組合デ、ソレデ責任モ無限、保證ト云フコトデナク、從來ノ漁業組合ト同ジデ、經費分賦ノ制度ダケデ、ソレダケノ仕事ヲスルナラバ、差支ナイト云フ程度ニナッテ居リマス

○鈴木委員 漁業協同組合ト云フモノモ、權利ノ主體デアルト云フト、漁業權ヲ共有

スル主體ニナル譯デアリマス、若シソレナラバ、漁業者ニアラザル者モ入ルト云フコトニ此度ノ規定デハナル譯デアリマスガ、漁業組合令ニ依リマス、漁業組合ノ加入ニ付テ面倒ナ條件ヲ附ケテハイカスト云フヤウナ規定ガアルガ、漁業協同組合ニ、漁業者ニアラザル者ガ入ルト云フ場合ニハ、ドウ云フヤウナ條件デアリマスカ

○戸田政府委員 只今ノ點ハ、先程御尋ノアリマシタ際ニ他ノ委員ノ方ニ御答ヲシマシタガ、組合規約ノ定ムル所ニ依リマシテ、組合員ニ漁業者ニアラザル者モ加入セシムルコトガ出来ルコトニナッテ居リマス、ソコデ一方漁業者以外ノ者ガ入リマシテ、組合ヲ攪亂ヲシマシテ、漁業權其モノニ取ガ付クヤウナコトガ起ッテハイケマセヌカラ、漁業組合令ノ改正ヲ行ヒマシテ、議決權ニ付テハ制限ヲ附スルト云フヤウニ致シテ居リマス、漁業者以外ノ者ガ組合ニ入ル爲ニ、組合ノ本體デアアル漁業權ノ主體タルモノニ瑕ガ付クト云フヤウナコトノナイヤウニ十分ニ注意ヲシテ、漁業ノ出来ルヤウニ組合令等ニ於テモヤッテ行クヤウニ考ヘテ居リマス、法律自體モサウ云フ趣旨カラ出来テ居リマスカラ、全然初カラ産業組合ヲ作ルヤウニ、誰デモ入り得、全體デ作ルト

云フノデハナク、漁業者ヲ主體トシテ、之ニ漁業者以外ノ者ヲ加入セシメルト云フヤウニ二段ニナッテ居リマス

○鈴木委員 漁業組合ノ聯合會、是ハ全國的ノ聯合會ヲ作ルコトハ差支アリマセヌカ

○戸田政府委員 漁業組合ノ聯合會ハ、矢張産業組合法ト同様ニ廣クナッテ居リマスノデ、漁業共同組合ト漁業組合ノ聯合會ヲ以テシテモ出来マスシ、聯合會ノミデモ出来ルヤウニナッテ居リマスシ、ソコニ別ニ系統的ナ階段ヲ設ケズ、全國聯合會モ出来ルシ、九州聯合會、四國聯合會モ出来ル譯デアリマシテ、區域等ニ付テハ自由デアリマス、實際ニ適應スルヤウナモノガ出来テ来ルコトガ宜イト云フ考ヘ方デアリマス、産業組合法ノ方モ、初ハ系統的ニナッテ居リマシタガ、途中デ改正サレテ、今度ノ漁業組合ノ聯合會ノ組織ト同ジヤウニ法制ガ途中デ改正サレマシタ

○鈴木委員 私ノ質問ハ是デ打切りマシテ、明日早朝ヨリ更ニ會議ヲ開クコトニ致シタイト思ヒマス、明日ノ會議ハ成ベク早く開クト同時ニ、此案ニ對スル討論ニ入リマシテ、又殘ッテ居ル案モ明日中ニ進行スルヤウニ致シタイト云フ希望ヲ持ッテ居

リマス、其場合ニ政府委員モ成ベク御列席
下サルヤウニ御取計ヲ願ヒマス

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○庄委員長 只今ノ青山委員ノ御發言ニ皆
様多數御同意ノヤウデアリマス——政府委
員ノ御同意ヲ得マシタカラ、其通り決定シ
テ本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時四十分散會